

令和7年度 自己評価報告書

令和8年2月

学校法人山陽女学園 広島歯科技工士専門学校

評価対象期間：令和7年4月1日～令和8年2月15日

目 次

1. 学校の教育理念、教育目標・・・・・・・・・・	2		
2. 評価項目別達成取り組み状況			
基準1 教育理念・目的・育成人材像・・・・・・・・	3	基準8 財務・・・・・・・・・・	12
基準2 学校運営・・・・・・・・・・	4	基準9 法令等の遵守・・・・・・・・	13
基準3 教育活動・・・・・・・・・・	5～6	基準10 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・	14
基準4 学修成果・・・・・・・・・・	7		
基準5 学生支援・・・・・・・・・・	8～9	3. 評価項目別の評価結果・・・・・・・・	15
基準6 教育環境・・・・・・・・・・	10	4. 令和7年度 重点目標達成についての総合的な評価結果・・	16～20
基準7 学生の受入れ募集・・・・・・・・	11	5. 令和8年度 重点目標と達成計画・・・・・・・・	21～24

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題がある。改善に一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策に取り組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

1. 学校の教育理念、教育目標

本校は、『未来に輝く人材を育成する』という理念を教育目標に掲げる学校法人山陽女学園を母体とし、昭和47年に広島県で最初の歯科技工士養成学校として創立された。

〈教育理念〉

教育基本法、学校教育法および歯科技工士法の定めるところに従い、歯科技工に関する知識と技能を身につけ、歯科医師、歯科衛生士とともに歯科医療に貢献できる人材を育成する。

〈教育目標〉

1. 歯科医療従事者としての意識、心構えなどに関わる知識を習得する。
2. 歯科技工の基礎的な知識と技術を身につける。
3. 実学を重視した実習指導を推進し、即戦力となる人材を育成する。
4. 地域の社会福祉に貢献できる人材を育成する。

2. 評価項目別達成取り組み状況

基準1 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	<ul style="list-style-type: none"> *学則、学生便覧にて定めている。 *学生便覧、ホームページにおいて公表している。 *卒業認定・専門士称号授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）を定めている。
2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学則、学校案内において特色を明確にしている。
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *教育課程編成委員会における提言を参考にして、教育方法を毎年見直している。 *企業と連携して実践的な歯科技工士教育の充実を図っている。
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生や保護者等に周知されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *入学時に「学生便覧」を配布のうえ、説明をして周知をしている。 *10月25日に個人懇談を実施し保証人（保護者）へ学校の現状報告書を渡した。欠席者には送付し周知した。 *育成する人材像を学生に認知させるために、4月に臨床現場である歯科医院の見学を、1月には歯科技工所の見学を実施した。
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *今後の社会のニーズに即応して適宜改定していく。 *学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会において、業界の状況を把握し、委員会での提言を教育に反映させている。 *1月に前年度卒業生の状況等のアンケート調査を実施した。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> *広島歯科技工士専門学校 学則 *学校案内 *広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp *令和7年度 学生便覧 		

基準2 学校運営

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	*学校法人山陽女学園の寄附行為のもと、運営方針が策定されている。
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	*事業計画については、本校及び法人本部で作成し、評議員会及び理事会で決定をしている。
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか有効に機能しているか	4	*学校法人山陽女学園全体の重要事項については、理事会・評議員会において決定をしている。
4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	*整備されている。 *就業規則・諸規定はファイルされ、教職員が閲覧可能となっている。 *諸手当について、規程を作成して明瞭にしている。
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	*学校法人山陽女学園の運営組織（理事会・評議員会）によって整備されている。
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	*学校法人山陽女学園及び本校の諸規定のもと、法令順守に努めている。
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	*文部科学省の定めるガイドラインに基づき、学校のホームページにて情報公開している。 （自己点検・評価、学校評価（学校関係者評価委員会の開催実績、教育課程編成委員会の開催実績）、シラバス、職業実践専門課程の基本情報（様式4：認定後の公表様式））
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	*情報のシステム化は少しずつ改善されつつあり、業務の効率化を図るための見直しは、適時行っている。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	*山陽女学園 令和6年度事業報告書、令和7年度事業計画書 *山陽女学園の寄附行為 *広島歯科技工士専門学校 学則など諸規定 *学校運営組織図 *広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp		

基準3 教育活動

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	*教育課程編成委員会を年間2回(8月、2月)開催して、教育課程の編成を見直している。 *学内においても、基幹教員により見直しを行っている。
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	*学則及び学生便覧に明記し、学生・保証人(保護者)に示している。 *授業開始前にシラバスを配布・説明し、周知している。
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	*教育目標に沿って、実習体系を「基礎」、「応用」、「企業連携」と編成している。
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	*業界のニーズに合った実習教育を、目標により実践的(臨床的)なモデルを使用しているなど、工夫している。 *教育方法を毎年見直している。臨床のニーズに合わない課題を廃止した。
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	*教育課程編成委員会(年間2回以上)、学校関係者評価委員会(年間3回以上)を開催し、いただいた提言を授業内容等の見直しに反映させている。
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	*企業連携授業を2社、1団体と協定を結んだ。 9月と10月に2社の授業を実施した。2月に1団体による授業を実施する。 *臨床現場の体験として、4月に歯科医院見学を実施した。 *11月、12月に歯科技工所見学を実施した(1年生)。 *7月、8月に歯科技工所でのインターンシップを行った(1~2社)。 *8月に歯科技工所見学を行った(2社以上)。
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	*専門科目は、授業終了後「授業アンケート調査」を実施し、授業の改善につなげている。 *実習は、職員会議等で常時見直しを行っている。
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	*学校関係者評価委員会を年3回(7月、11月、2月)開催、外部評価を受けている。 *1月に前年度の卒業生が就業している企業へアンケート調査を実施した。
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	*学則に定めるとともに、学生便覧、シラバス、試験のしおりにも明記し、学生・保証人(保護者)に示している。 *履修規程を見直し、実技試験の採点基準を整備している。
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	*1学年から国家試験課題に取り組み、2学年より模擬試験を実施している。模擬試験の成績は開示し、目標達成の意識向上に心がけている。

11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *大学、専門学校等から実務経験のある教員を確保している。 *新しい若手教員を採用した。
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *実務経験のある教員を確保している。 *教員の専攻分野における実務研修を実施した。教員の指導力の習得・向上のため、研修会を受講させている。
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *専任教員の多くが各種研修会に参加し、教育力向上に取り組んでいる。 *リモート開催の場合は参加しやすいが、対面研修の場合は時間や経費などの課題がある。
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	<p>《指導力の習得・向上のための研修》</p> <ul style="list-style-type: none"> *基礎学力の「つまづき」にどう向き合うか ICT を活用した支援の実践（ラインズ㈱リメディア教育グループ主催）：1名が受講した。 *コミュニケーションの在り方について（公益社団法人広島県専門学校各種学校連盟主催） *FD 関連事例紹介セミナー（一般社団法人全国専門学校教育研究会主催）：1名が受講した。 *SD 関連事例紹介セミナー（一般社団法人全国専門学校教育研究会主催）：1名が受講した。 <p>《専攻分野における実務研修》</p> <ul style="list-style-type: none"> *デジタルデンチャーの現在と未来（全国歯科技工教育協議会主催）：5名が受講した。 *教員研修会 歯科医院での歯科技工視察（医療法人たんぼぼ会歯科主催）：1名が受講した。 *教員研修会 CADでの補綴装置の設計（㈱松風）5名が受講した。 *歯科技工に関する情報セキュリティ等を学習する（全国歯科技工教育協議会主催）：3名が受講した。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	*教員の学会、講演、その他の活動状況		

基準4 学修成果

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	就職率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *進路面談を開催し、学生カルテを作成した。 *各学生はインターンシップ1社、会社見学を2社以上、行った。 *学内合同会社説明会を実施し、学生はその後、興味のある会社を見学した。 *キャリア担当が就職に関する相談の窓口になっている。
2	資格取得率の向上が図られているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *9月・11月・1月に歯科技工士国家試験の全国模擬試験を受験した。 *1年生の後期から家庭学習（国家試験問題の宿題）の取組みを行っている。 *個別指導体制により、学生を指導している。
3	退学率の低減が図られているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *定員割れが常態化しており、入学希望者はほぼ全員が入学できる状態である。 *欠席する事に抵抗がなく、学修意欲に欠ける学生がいるので、より細かく学生に向き合うよう努める。 *授業時間内で課題を終了しないことが常態化している。 *課題の進行が遅い学生に対して、放課後に時間を設けることで補習とした。 *学生の学業不振、心に病を持つ学生に対し相談にのり、保証人（保護者）とも連絡を取りながら退学しないように努めている。 *必要に応じて専門医の受診を勧めている。
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *卒業生の動向把握のため、同窓会を通してアンケート調査を実施している（返信率は例年約30%）。 *1月に卒業生（卒後1年）の就業先に対して、就業状況等のアンケート調査を実施した。
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	<ul style="list-style-type: none"> *同窓会、歯科技工士会等との連携を深め、研修会等の実施を引き続き進める。 *就業先の就業状況のアンケート調査結果を教育課程編成委員会で報告し、委員の提言を受けながら改善に努める。 *キャリアセンターを設置した。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	特になし		

基準5 学生支援

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *ハローワークより職業紹介業務の認可を受け、進路指導担当者を置くなど、体制はできている。 *就職担当教員同士および事務局間での連携を強めている。 *提出書類について、教職員の全員が把握するように努めている。
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学年担任制をとっており、学生の相談には親身で丁寧に取組んでいる。
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学納金の減免措置等はないが、2期に分納することで一度の負担を軽減している。 *今年度、高等教育の修学支援新制度に10名（1年4名、2年6名）が申請した。年間2回に分けて学生に還付することとし、1回目は10月に還付し、2回目を令和8年3月に還付する予定。 *新入生を対象に、学校独自の経済的支援制度として入学金の免除等を設定した。同窓会からの進学者2名が入学金の免除、同窓会員からの紹介で1名が減免となった。
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	<ul style="list-style-type: none"> *学校医（医師、歯科医師）を置いている。 *4月16日に胸部X線撮影をした。 *5月8日に内科検診を実施した。 *11月4日に歯科検診を実施した。
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *「学生災害傷害保険」に加入し、授業中・通学中・学校行事中の事故等に備えている。 *4月28日に新入生歓迎のレクレーション実施をサポートした。 *6月6日遠足を実施した。 *学生が親睦目的の行事（すいか割り）への会場提供やサポートをした。 *クリスマスツリーを提供し、クリスマス会の開催をサポートした。
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *専任教員が積極的に相談に乗っている。 *山陽女子短期大学の専門のカウンセラーに、依頼する体制は整っている。 *学園女子寮へ入寮できるようにした。 *登校時の服装を、リクルートスーツから私服を認めた。 *自動販売機を学生が希望するものへの交換を迅速に対応した。
7	保護者と適切に連携しているか	4	<ul style="list-style-type: none"> *無断欠席の場合は、保証人（保護者）と学生に連絡を取り、状況の把握と相談に努めている。 *10月に個人懇談を希望する保証人と面談し、成績表及び出席状況表を渡した。

			また、学校の現状報告については書面で通知した。
8	卒業生への支援体制はあるか	4	*卒業生に対する就職相談等を行う体制はできている。 *各種証明書（卒業証明書・成績証明書・在籍証明書等）を発行する体制がある。
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	*教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」施設の指定（指定期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日）を受けており、令和7年度入学生1名が申請した。
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行なわれているか	4	*山陽女学園高等部文化祭にて、歯科技工物の展示を行った。 *11月14日に聖光高校で体験授業「歯科技工士を知ろう」を実施した。 *11月14日に廿日市西高校で医療職ガイダンスを実施した。 *3月16日に廿日市西高校で進学ガイダンスを実施する。 *3月18日に岩国高校坂上分校で体験授業「歯科技工士を知ろう」を実施する。 *職業実践専門課程の情報を公開している（学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会の開催、教員の研修の受講状況及び企業と連携した授業の実績報告）。
【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
特記事項 参考資料	*学生管理台帳		

基準6 教育環境

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備され、教育に用いられているか	3	<p>*教育機器については学生数に対して十分対応できており、故障等に対しては授業に支障の無いよう即時対応している。</p> <p>*歯科技工のデジタル化に伴い、CAD スキャナー（1台）、パソコン（5台）の教育機器一式を整備している。CAMの加工機はまだ整備できていない。</p>
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	<p>*企業（歯科技工所2社）および広島県歯科技工士会と連携した実習授業を計画し、9月・10月に2社の授業を実施した。2月にも1団体による授業を実施する。</p> <p>*7月、8月に2年生それぞれが歯科技工所でのインターンシップを1社以上を受けた。</p> <p>*9月に研修旅行で、和田精密歯研株本社を見学した（2年生全員）。</p> <p>*4月に1、2年生全員が歯科医院を見学した。</p> <p>*11月、12月に1年生全員が歯科技工所を見学した。</p> <p>*海外研修等については不要と考え、行っていない。 代わりに特別授業で海外での歯科医療や歯科技工に関する授業を実施した。</p>
3	防災に対する体制は整備されているか	4	<p>*4月28日に防災訓練（避難訓練、119番通報訓練、消火訓練、消火栓の使用方法、地震対策）を実施し、災害時には対応できるように備えた。</p> <p>*8月、3月に消防・防火設備の保守点検を業者に依頼し、実施している。</p> <p>*5月16日に1年生が救命講習を消防署にて受講した。</p> <p>*学校保健計画を作成した。</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*防災（防火）訓練計画書 *防火管理維持台帳</p>		

基準7 学生の受入れ募集

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	<ul style="list-style-type: none"> * 高校訪問校の選定及び時期と回数等の見直しを随時行っている。 * 高校訪問を5回（4月・6月・8月・10月・1月）実施した。 通信制高校やオープンキャンパスに参加があった高校を追加して、高校訪問をした。 * 高校訪問時には事前に面談予約を取って訪問するようにした。 * 社会人向けの募集活動について、「専門実践教育訓練」施設の指定校である旨をホームページとオープンキャンパスで周知している。 * 12月27日～1月5日に社会人対象のネット広告を配信した。それに伴い、ホームページの「社会人の方へ」をリニューアルした。 * ホームページにて新着情報を更新している。 * （一社）広島県歯科医師会の協力により、チラシを配布・掲示していただいている。 * 広島歯科技工経営者協議会の協力により、チラシを配布・掲示していただいている。 * オープンキャンパスでの学校説明に動画を利用して、業界のことをより分かりやすく伝えている。また、保護者対象の説明会を開催している。
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> * 学校案内、ホームページ、高校訪問およびオープンキャンパス等で伝えている。 * 教育成果としての国家試験合格率、就職状況等について、広く伝えている。 * 動画を製作し、SNSで公開している。
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> * 現在の物価状況等と施設・専門機器および設備の整備・人件費等の経費を考えると妥当である。 * 近県の同じ歯科技工士専門学校と比較しても同程度である。 * 新入生の購入器具や材料費及び教本代の値上がりに伴い、徴収設定額を上げた。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> * 学校案内 * 学生募集要項 * 広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp 		

基準8 財務

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	<p>*経費削減に取り組み、毎年黒字化を実現して中長期的に財務基盤の安定化を目指す。</p> <p>*今年度、入学者の充足率が0.73と昨年度より向上した、定員確保の為に学生募集に力を入れる必要がある。一方、学生募集に係る必要経費はかさんでいる。</p> <p>*修学支援新制度（確認大学）の指定要件は何とか満たしているが、経営および充足率に係る要件を満たさなければ、指定を取り消されることになるので注意が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営に係る要件：直近3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」及び直前年度の貸借対照表「運用資産－外部負債」をプラスにする必要がある。 ・充足率に係る要件は収容定員の50%以上である。 <p>*入学者の定員を確保し、中長期的に安定させる必要がある。</p>
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	4	<p>*学校法人会計基準に則り、適正に行われている。</p> <p>*予算計画は法人本部と調整し、評議員会と理事会で承認され、概ね妥当と思われる。</p> <p>*広報活動費が膨らんでいる。</p>
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	<p>*山陽女学園の公認会計士による外部監査（年間約10回）、および監事による財務監査が実施され、指摘事項があった場合には適切に是正措置を講じている。</p>
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	<p>*財務諸表等の情報をホームページで公開している。</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<p>*財務諸表（①事業活動収支計算書、②貸借対照表、③財産目録、④監査報告、⑤事業計画）</p> <p>*広島歯科技工士専門学校ホームページ https://www.hiroshima-shikagikoushi-senmon.jp</p>		

基準9 法令等の遵守

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	*教育基本法、学校教育法、歯科技工士学校指定規則、専修学校設置基準および歯科技工士法等の定めを遵守して適正に運営している。
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	*学校法人山陽女学園の個人情報適正管理規定に則り、適正に対応している。 *学生、保証人（保護者）、非常勤講師等から個人情報を取得する場合には、使用目的を明確に伝え、使用後はシュレッダーにかけて破棄している。
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	*自己点検・評価を実施し、学校関係者評価委員会では提言をいただき、それらに基づいて課題解決および改善等を図っている。
4	自己評価結果を公開しているか	4	*自己評価の結果を6月にホームページで情報公開している。
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	<ul style="list-style-type: none"> * 歯科技工士養成所指定規則 * 専修学校設置基準 * 歯科技工士法 * 山陽女学園の寄附行為 * 山陽女学園の個人情報適正管理規定 * 授業料等納入規定 * 教員研修規程 * 毒物劇物危害防止規定 		

基準10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	評価項目に対する現状認識・評価等、課題とその解決方法等
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	<p>*6月8日に廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」でブースを設け、歯科技工物の展示、歯のパズル、指の型取りを行った。</p> <p>*6月22日に佐伯歯科医師会主催の「ふれあい歯っぴーフェスタ」でブースを設け、歯科技工物の展示と歯のパズルを行った。</p> <p>*学校の教育施設等を活用しての地域貢献ができていないので、検討している。</p>
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3	<p>*廿日市市主催の「歯のなんでも相談日」に学生2名がボランティアで参加した。</p> <p>*佐伯歯科医師会主催の「ふれあい歯っぴーフェスタ」に学生4名がボランティアで参加した。</p> <p>*広島市歯科医師会主催の「おくちの健康展」には参加希望者がいなかったが、来年度以降も参加を奨める予定である。</p>
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の委託等を積極的に実施しているか	2	<p>*補綴装置等に関する公開講座の開催を引き続き検討するが、実施するには教員のスキルアップが必要である。</p> <p>*来年度は中学生職業体験の受け入れを予定している。</p>
<p>【評定】 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1</p>			
特記事項 参考資料	*本校教職員の社会活動の状況		

3. 評価項目別の評価結果

基準1 教育理念・目的・育成人材像について、適切に実施されている。

基準2 学校運営について、適切に実施されている。

基準3 教育活動について、適切に実施されている。

基準4 学修成果については、ほぼ適切に実施されている。

基準5 学生支援については、ほぼ適切に実施されている。

基準6 教育環境については、ほぼ適切に実施されている。

基準7 学生の受入れ募集については、適切に実施されている。

基準8 財務については、ほぼ適切に実施されている。

基準9 法令等の遵守については、適切に実施されている。

基準10 社会貢献・地域貢献については、やや不適切である。（対応が十分でない。）

4. 令和7年度 重点目標達成についての総合的な評価結果

令和8年2月12日(木) 現在

1. 教育活動について

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	1) 臨床現場の見学	* 歯科医院見学 (1、2年生)	* 4月26日に実施した。	○
		* 歯科技工所見学 (1年生)	* 11月27日(木)、28日(金)、12月24日(水)に実施した。	
		* 歯科技工所見学2社 (2年生)	* 夏季休暇中に一人2社以上の見学を実施した。	
		* インターンシップ (2年生)	* 和田精密歯研(株)、(株)愛歯の2社からのインターンシップ参加の依頼があり、7月、8月に参加した。	
	2) 特別授業	① 顎顔面補綴	* 令和7年7月1日(火)に実施した(株)愛和義肢製作所 森下裕司。	○
		② インプラント、海外事情	* 令和7年9月3日(水)に実施した(デンテックインターナショナル(株)山下恒彦)。	
		③ 審美歯科	* 令和7年11月21日(金)に実施した((一社)日本歯科審美学会 末瀬一彦)。	
		④ スペインでの歯科技工	* 令和7年11月9日(日)に実施した(株)SDL 多和利雄人)。	
		⑤ デジタル技工とAI	* 令和8年1月27日(火)に実施した(広島大学 峯裕一)。	
		⑥ 歯肉材料(セラマージュ)	* 令和8年2月19日(木)に実施する(株)松風 沖本祐真)。	
		⑦ CADによるパーシャルデンチャー	* 令和8年2月20日(金)に実施する(株)GC 真辺浩典)。	
		⑧ サイレンサー	* 令和8年2月25日(水)に実施する(Matsuda Oral Appliance 松田信介)。	
	3) 歯科技工士国家試験対策	① 全国模擬試験(学説)	* 第1回: 令和7年9月5日(金)に実施した(全国歯科技工士学校協会主催)。	○
* 第2回: 令和7年11月28日(金)に実施した(医歯薬出版(株)主催)。				
* 第3回: 令和8年1月6日(火)に実施した(全国歯科技工士学校協会主催)。				
② 学内模擬試験(学説・実技)		* 第1回を2月5日(木)、第2回を10日(火)にそれぞれ本番(時間及び形式)を想定して実施した。*その他にも複数回実施した。		
③ 個別指導	* 放課後に勉強会を実施した。			
2	就職活動支援	① 就職アンケート	* アンケート調査を4月に実施した。	○
		② 学内就職ガイダンス	* 4月と5月に2回実施した。	
		③ 学内会社説明会	* 5月に実施した。	
		④ 就職個人面談	* 7月に実施した。	

2. 入学生の確保

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	広報活動	①入学生確保の目標人数	*入学定員の30人と設定している。	×
		②新聞、ネット広告	*新聞広告は実施していない。 *ネット広告を年末年始に配信した。	△
		③ホームページからの情報発信	*新着情報、オープンキャンパスの案内を随時、更新している。	○
		④進学ガイダンス（業者）	*6月6日（金）山陽女学園高等部（キッズコーポレーション主催）に参加した。 *6月25日（水）廿日市西高校（キッズコーポレーション主催）に参加した。 *7月14日（月）熊毛南高校（株さんぼう主催）に参加した。 *11月14日（金）聖光高校（株さんぼう主催）の体験授業を実施した。 *11月14日（金）廿日市西高校（キッズコーポレーション主催）に参加した。 *3月16日（月）廿日市西高校（キッズコーポレーション主催）に参加予定。 *3月18日（水）岩国高校坂上分校（株さんぼう主催）の体験授業を実施予定。	○
		⑤近隣地域へのポスター掲示	*オープンキャンパスの日程に合わせて近隣の商業施設に掲示した。	○
		⑥SNSの活用	*インスタグラム、フェイスブック、X、LINEで配信している。	△
		⑦県外の高校への案内等	*短期大学と合同で、近畿、中四国、九州の高校へ学校案内とチラシを郵送した。 尚、短大が訪問する高校には、短大に依頼し、学校案内とチラシを配布した。	○
		⑧新入生のアンケート調査	*歯科技工士と本校を知ったキッカケや誰から情報を得たか等、今後の広報活動に活かす情報収集のため実施した。	
2	高校訪問	*年間5回 広島県内：約70校 山口県東部：約25校 ※訪問校は随時見直し	*4月、6月、8月、10月、1月にオープンキャンパスの開催案内に合わせて、実施した。 *オープンキャンパス参加者校や、本校を受験しそうな高校に絞り、実施している。 *訪問前には必ずアポイントを取っている。 *訪問校のクラス数と生徒数、担任の名前及び生徒一人一人へのチラシ配布が可能か聞き取り調査を行い、可能な場合には配布数を準備して訪問している。 *生徒個人へのチラシ配布が可能な高校には、クラス人数分を訪問時に持参した。 *通信制高校への訪問を実施している。	○

3	オープンキャンパス等	*年間8回	*5月、6月、7月、8月(2回)、9月、11月、1月に開催した。 *今年度の参加者数は75名(個別を含む)(昨年度の参加者数:61名)。	○
		*イブニング説明会	*12月19日(金)、1月23日(金)に実施した。 *今年度は3名が参加した(昨年度:0名)。	○
		*個別見学	*学校行事等と調整し2名が参加した。(6月、8月)(昨年度:4名)。	○
4	高等教育の修学支援新制度(確認大学)の指定校の継続	①「職業実践専門課程」認定の継続	*自己点検、自己評価の実施 *学校情報のホームページへの公表 *学校関係者評価委員会の開催(年3回以上)と報告書の公表 *教育課程編成委員会(年2回以上)の議事録の公表 *企業連携授業(関連企業及び団体による)の実施(年3回以上)。 *教員に対して行う企業等と連携する、実務研修・指導力の修得・向上のための研修	○
		②機関要件の確保	*要件として次の3点がある(いずれにも該当する場合対象機関としない)。 a. 直前3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」がマイナス b. 直前年度の貸借対照表「運用資産-外部負債」がマイナス c. 直近3年度全ての在籍学生が収容定員の5割未満 その為に、学生確保には全力で取り組む必要がある。	△
5	歯科関係団体との連携	①(一社)広島県歯科医師会	*歯科業界の情報の共有 *会員の歯科医院に、オープンキャンパスのチラシの掲示に協力していただいた。	○
		②(一社)広島県歯科技工士会	*歯科技工業界の情報の共有 *11月14日(金)歯科技工士会主催の第28回カービングコンテストに参加した。 *会員(歯科技工所)の取引先歯科医院に、オープンキャンパスのチラシの掲示に協力していただいた。 *歯科技工士会主催の生涯研修や行事に学生が無料で参加する。 *令和8年2月、企業連携授業を開催する。	○
		③広島歯科技工経営者協議会	*会員(歯科技工所)の取引先歯科医院に、オープンキャンパスのチラシの掲示に協力していただいた。	○
		④全国歯科技工士教育協議会	*全国の歯科技工士養成校の情報を共有している。 *5月31日(土):東京で総会が開催され、赤川校長、木村教務主任が参加した。 *7月23日(水):中四国地区ブロック教務主任ミーティングに参加した。	○

		<ul style="list-style-type: none"> * 8月25日(月)：中国地区ブロック教務主任ミーティングに参加した。 * 10月4日(土)：中国地区ブロック会議に教員全員が参加した。 	
	⑤全国歯科技工士学校協会	<ul style="list-style-type: none"> * 私立学校の情報を共有している。 * 協会主催の国家試験模擬試験を年2回受験した。 	○
	⑥日本歯科技工学会	<ul style="list-style-type: none"> * 学生が学生会員として全員入会している。 * 当校の基幹教員の木村教務主任が、代議員、広報委員を務めている。 	○
	⑦医歯薬出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> * 医歯薬出版主催の国家試験模擬試験を年1回受験している。 * 当校の基幹教員の木村教務主任が、国家試験問題の解説を作成している。 	○
	⑧本校同窓会	<ul style="list-style-type: none"> * 卒業生の動向の把握に協力をお願いしている。 * 学生が学術、福祉の行事に無料で参加している。 	○
6	社会人の受け入れ	<p>①教育訓練給付制度の専門実践教育訓練施設に指定（令和5年4月1日～令和8年3月31日まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 令和7年度入学生に1名の該当者がいる。 * 「教育訓練給付金制度」と受給要件により「教育訓練支援給付金制度」も受けられるダブル制度があり、4名の内3名が受給中である。 * 令和7年度4月より受給割合が変更した。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育訓練給付金制度：2年間で80万円+就業すると32万円+賃金上昇があれば、更に16万円増額の合計128万円となる。 ・教育訓練支援給付金制度：賃金日額の60%を受給できる。 * この制度を広く周知して、社会人入学生の増加に力を入れる必要がある。 <p>②専門実践教育訓練施設の指定の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「職業実践専門課程」の認定の継続が必要であり、再指定の申請をした。 次期認定期間：令和8年4月1日～令和11年3月31日 (※高等教育の修学支援新制度(確認大学)の項で挙げた取り組みと同様) * 学校の現況報告をホームページ上で情報公開が義務付けられている。 	○

3. 業務の見直し

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	教職員の業務	*検討会の開催	*必要に応じて開催する。	△

4. 中途退学者の減少

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	学習意欲（モチベーション）の向上	*保証人（保護者）と連絡	*随時、三者面談（本人、保護者、教員）を行っている。引き続き保証人（保護者）と連絡を取る。 *10月25日（土）に個人懇談を開催した。	○
2	学業不振者への対応	*放課後の指導	*引き続き取り組む。 *試験不合格者に対しては、個別指導を行うとともに頻繁に家庭と連絡をとり、家庭からの支援を強化している。	○
3	心に病を抱えた学生への対応	*保証人（保護者）との連携	*多様な学生への対応が必要であるため、保証人と教員間で情報共有に努め、連携を強化している。	△

5. その他

○出来ている △途中 ×出来ていない

	目標や計画	内 容	現状及び課題とその取り組み	評価
1	保証人（保護者）個人懇談会	*毎年10月に開催	*10月25日（土）に開催した。 *学校生活の状況報告と成績および出席状況等を通知した。	○
2	新型コロナウイルス等の感染対策	*令和7年度は通常授業を行っている。	*注意喚起、検温、手指の消毒等は継続している。 *県より医療機関逼迫の注意があれば、学生に更なる注意を促している。	○

5. 令和8年度 重点目標と達成計画

(1) 教育活動

1) 臨床現場の見学

- ① 1年生、2年生の歯科医院への見学の実施
- ② 1年生：秋季に授業として歯科技工所見学（1社）の実施。
- ③ 2年生：夏季休暇中に企業開催のインターンシップの参加と2社以上の歯科技工所見学の実施。

2) 特別授業

- ① 「顎顔面補綴」：(株)愛和義肢製作所 森下裕司
- ② 「海外事情及びインプラント」：デンテックインターナショナル(株)代表 山下恒彦
- ③ 「審美歯科」：(一社)日本歯科審美学会 名誉会員 末瀬一彦
- ④ 「スペインでの歯科技工」：多和利雄人
- ⑤ 「デジタル技工とAI」：広島大学 峯裕一
- ⑥ 「歯肉材料（セラマージュ）」：(株)松風 沖本祐真
- ⑦ 「CADによるパーシャルデンチャーの設計」：(株)GC 真辺浩典
- ⑧ 「サイレンサー」：Matsuda Oral Appliance 代表 松田信介
- ⑨ 「アメリカでの歯科医療・歯科技工」：元ボストン大学教授 平山洋

3) 企業連携授業

- ① (株)愛歯
- ② 和田精密歯研(株)
- ③ 一般社団法人広島県歯科技工士会
- ④ デジタルで製作するデンチャー

4) 国家試験対策

- ① 国家試験問題集（学説）の宿題の実施（1年生の10月から）
- ② 全国模擬試験の参加（全国歯科技工士学校協会主催2回、医歯薬出版主催1回）
- ③ 学内模擬試験の実施
- ⑤ 個別指導の実施

5) その他

- ①授業時間数の見直し
- ②重複する課題の見直し
- ③臨床現場のニーズに合った課題の検討
- ④入学前教育の実施

(2) 入学生の確保

1) 広報活動の充実

- ①入学生の目標人数は30名（定員）。
- ②ネット広告の検討
- ③ホームページからの情報発信
- ④進学ガイダンスへの参加
- ⑤関連団体、近隣地域へのチラシの掲示依頼
- ⑥SNSの活用
- ⑦メールでのオープンキャンパス、入学試験等の案内
- ⑧学校案内のデザイン会社の見直し

2) 高校訪問の実施

- ①専任教員が年間5回（4月、6月、8月、10月、1月）の訪問
 - ※訪問回数、訪問高校数及び訪問地域の随時の見直し
 - *対象は、広島県（76校）、山口県（34校）※随時見直し、オープンキャンパスの参加があった学校へ訪問を実施。
 - *各回の持参物の検討（オープンキャンパスチラシ、学校案内、職業案内等）
 - *山陽女子短期大学の広報部より、学校案内・チラシを近畿地区・四国地区・九州地区へ郵送

3) オープンキャンパス等の開催

- ①オープンキャンパス年間8回の開催
- ②イブニング説明会2回の開催
- ③個別見学の実施（随時受付）
- ④体験内容の見直し
- ⑤学生主体による企画、運営

4) 高等教育の修学支援新制度（確認大学）の指定校の継続

①「職業実践専門課程」認定の継続

②機関要件の確保

※次の3点いずれにも該当する場合は、対象機関としない。

- a. 直前3年度全ての収支計算書の「経常収支差額」がマイナス
- b. 直前年度の貸借対照表「運用資産—外部負債」がマイナス
- c. 直近3年度すべての在籍学生が収容定員の5割未満

5) 歯科関係団体との連携

- | | |
|-------------------|--------------------|
| * (一社) 広島県歯科医師会 | * (一社) 広島市歯科医師会 |
| * (一社) 広島県歯科技工士会、 | * 広島歯科技工経営者協議会 |
| * 全国歯科技工士教育協議会 | * (一社) 全国歯科技工士学校協会 |
| * 本校同窓会 | * 廿日市市 |

6) 社会人の受け入れ

①「職業実践専門課程」認定の継続

* 自己点検、自己評価の実施

* ホームページへの学校情報の公表

* 学校関係者評価委員会の開催（年2回以上）と報告書の公表

* 教育課程編成委員会の開催（年2回以上）と議事録の公表

* 企業連携授業の実施（3企業（関連団体）以上が望ましい）

* 企業等と連携し、専攻分野における教員の実務研修の受講

②教育訓練給付制度の「専門実践教育訓練」施設再指定

* 現況報告の報告と公表（5月）し、広く周知する。

(3) 業務の見直し

全教職員による見直し、検討会の開催（必要に応じて）

(4) 中途退学者の減少

- 1) 学習意欲の向上を計る。
 - ① 実習課題と授業時間を見直し、振り返りと個別指導時間の確保をする。
 - ② 放課後の実習指導の実施
- 2) 学業不良者への対応（放課後の指導等）
- 3) 心に病を抱えた学生・多様な学生への対応
- 4) 保護者との連携（迅速な三者面談の実施）し、面談記録をする。

(5) その他

- 1) 就職支援
 - ① 学内就職ガイダンス（就職担当教官）
 - ② 会社合同説明会開催の検討
 - ③ 同窓会と協力し、キャリアセンターの充実を図る。
- 2) 保証人（保護者）個人懇談会の開催
 - ① 10月に開催
 - ② 学校の現状報告、成績表・出席状況の通知